

平成28年度
第1回
まちなみにぎわい
ワークショップ

秩父鉄道行田市駅周辺地区

- 1. 行田市のまちづくりの流れ
- 2. 全国的なまちづくりの背景
- 3. 行田市の活性化へむけて
- 4. グループワーキングについて

まちづくりの位置づけ

第5次行田市総合振興計画(平成23年3月)

【将来像】古代から未来へ 夢をつなぐまち ぎょうだ



行田市都市計画マスタープラン(平成25年3月)

【将来像】水と緑と歴史がおりなす
笑顔あふれるまち ぎょうだ

【中心部地域】水と緑を身近に感じ、
歴史の風格が漂う
歩いて暮らせる便利なまち

行田市の目標人口

83,000人 平成44年(2032年)

(定住人口70,000 + 交流人口13,000)



行田らしいまち並みづくりと

にぎわい創出基本計画(平成26年3月)

【方針】“行田らしい”風土を活かした、にぎわいにつなげるまちづくり

▶ 中心市街地(モデル地区)からまちの元気を広げる → 市域全域に波及

都市計画に関する基本的な方針

多くの市民参画

- ▶ 市民意識調査
- ▶ 地域別懇談会
- ▶ 市民まちづくり会議
- ▶ こども会議

市民提案

策定委員会

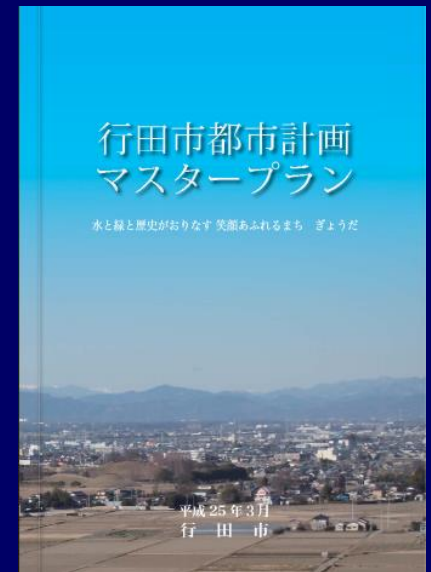
検討委員会

作業部会

■ 平成25年3月
『行田市都市計画マスタープラン』 策定

▶ 市民の意見を反映

長期的なまちづくりの指針を示す羅針盤



「都市計画マスタープラン」の実現に向けて

多くの市民参画

- ▶ 景観まちづくりWS
- ▶ 市民アンケート調査
- ▶ 関係団体ヒアリング

意見・提案

策定委員会

検討委員会

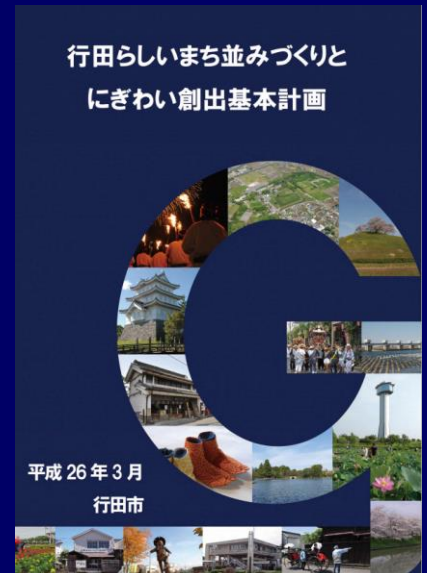
ワーキング委員会

■ 平成26年3月

『行田らしいまち並みづくりと
にぎわい創出基本計画』の策定

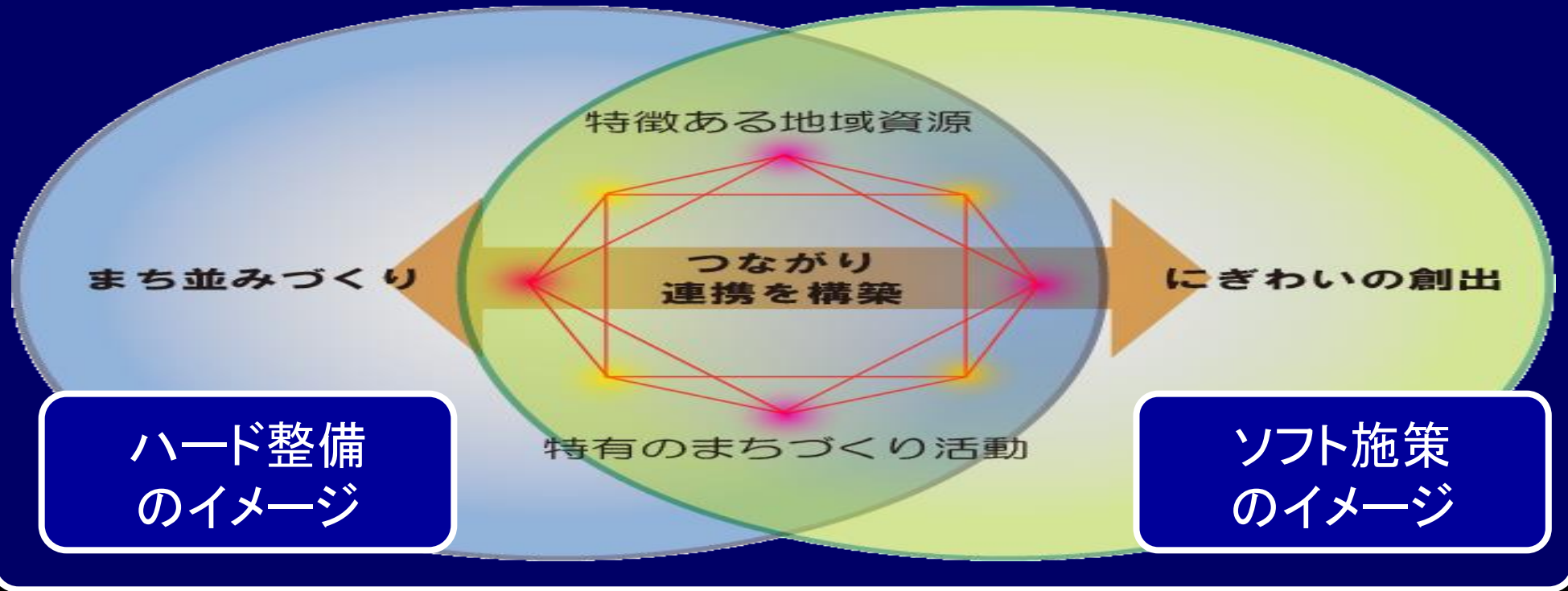
- ▶ 行田市都市計画マスタープランを
景観まちづくりの観点から具体化

➡ 中心市街地から**まちの元気を広げる**



まちづくりの方向性

【方針】“行田らしい”風土を活かした、
にぎわいにつなげるまちづくり



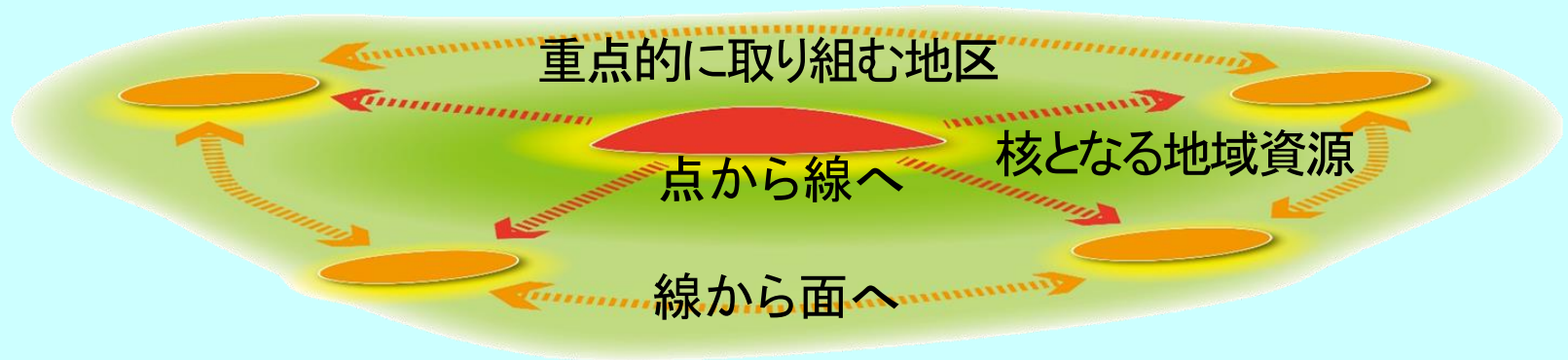
“行田らしさ”を活かしたまちづくりを実施

まちづくりの推進の考え方

推進方策

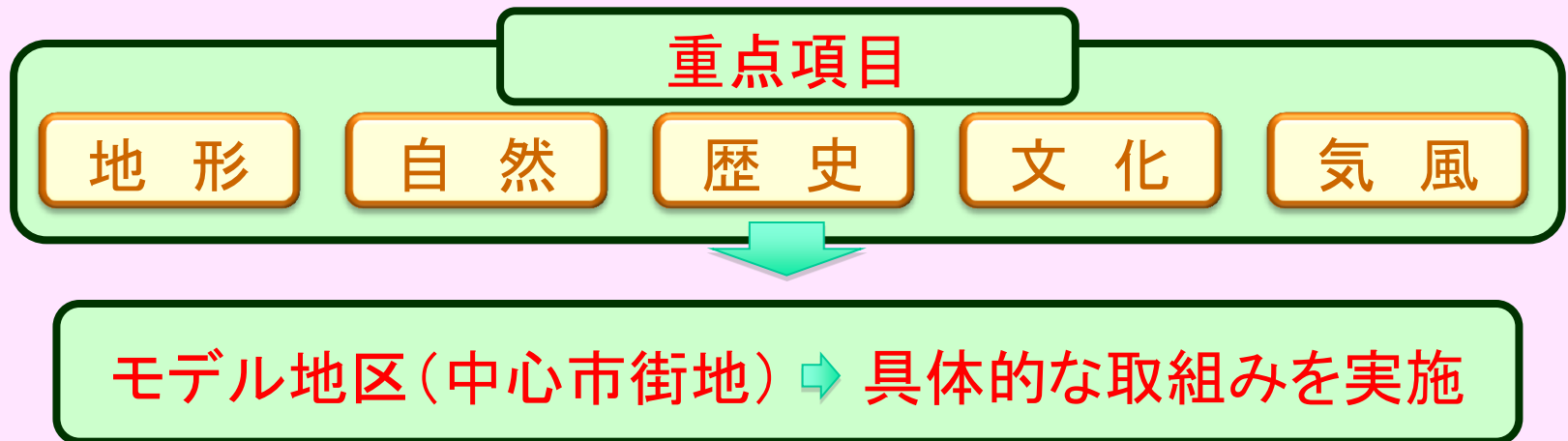
『“行田らしさ”を活かしたまちづくり』の実現

➡ 地域資源を核に 連携したまちづくりの推進



実施方策

“行田らしさ”を象徴する地区 ➡ まち並み・にぎわいを重点的に



国の交付金を活用した事業展開

(社会資本整備総合交付金)

【秩父鉄道行田市駅周辺地区都市再生整備計画】

【計画期間】 平成27年度～平成31年度(5カ年)

ハード整備

- 歴史的街路整備事業
- 文化ゾーン整備事業
- 観光案内所整備事業
- 街なかサイン整備事業

ソフト施策

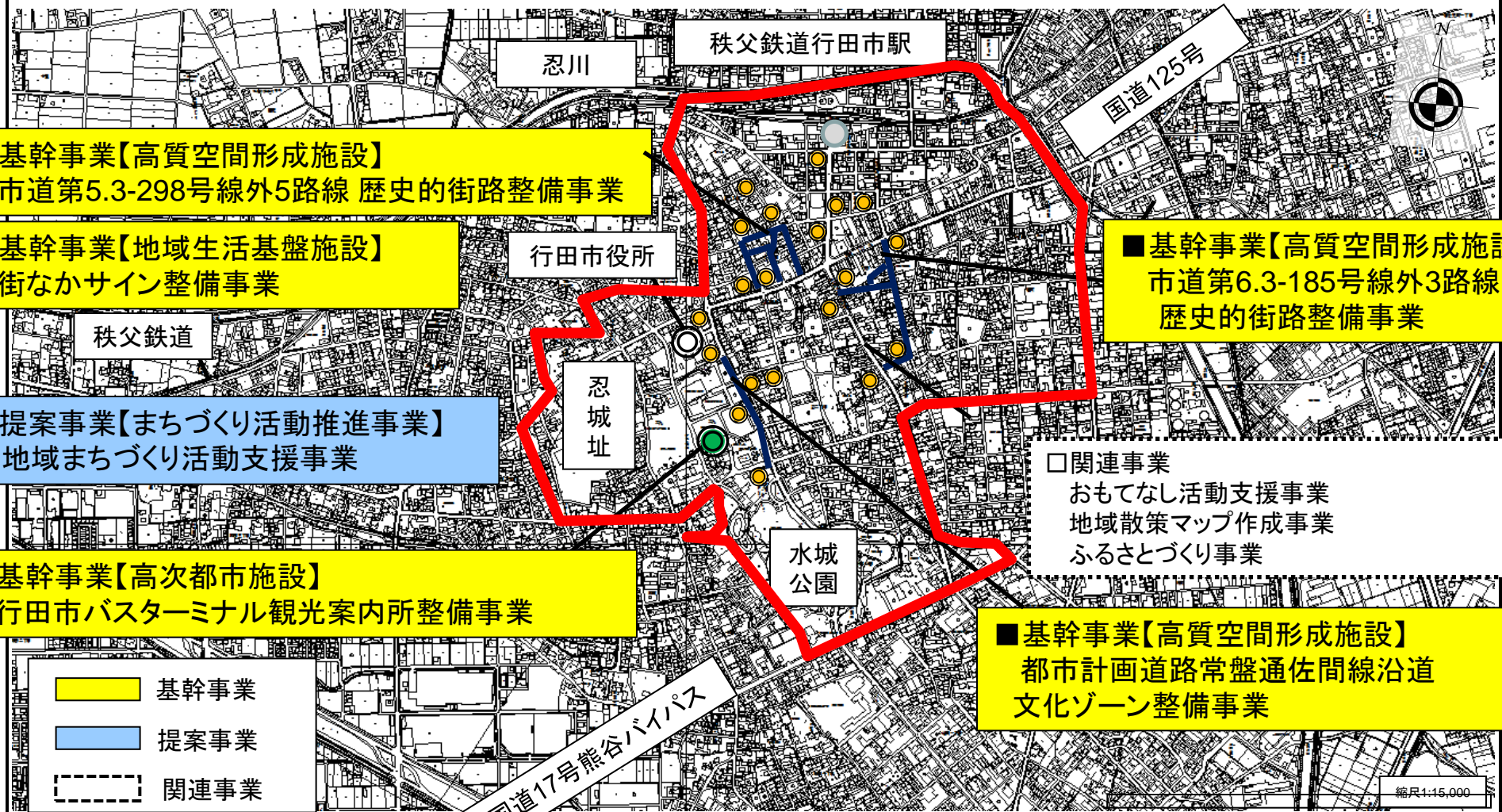
- 地域まちづくり活動支援事業
まちなみにぎわいワークショップ
まちづくりの仕組みづくりと
取組みに対する支援

【目標】 まち並みづくり(ハード)と賑わいづくり(ソフト)の連携を構築し、効果的なまちづくりを図る

整備方針概要図

秩父鉄道行田市駅周辺地区(埼玉県行田市) 整備方針概要図

目標	行田らしさを活かした街なみ景観と賑わいの創出による中心市街地の活力増進	代表的な指標	まちづくり活動への参加希望率 (%)	48.1 (H21年度) → 70.0 (H32年度)
			街なみ満足度 (%)	32.0 (H21年度) → 45.0 (H32年度)
			中心市街地の人口減少率 (%)	-5.6 (H22年度) → -2.8 (H32年度)
			地区内観光客入込数 (人)	350,000 (H25年度) → 450,000 (H32年度)



■ 基幹事業【高質空間形成施設】
市道第5.3-298号線外5路線 歴史的街路整備事業

■ 基幹事業【地域生活基盤施設】
街なかサイン整備事業

■ 基幹事業【高質空間形成施設】
市道第6.3-185号線外3路線 歴史的街路整備事業

□ 提案事業【まちづくり活動推進事業】
地域まちづくり活動支援事業

□ 関連事業
おもてなし活動支援事業
地域散策マップ作成事業
ふるさとづくり事業

■ 基幹事業【高次都市施設】
行田市バスターミナル観光案内所整備事業

■ 基幹事業【高質空間形成施設】
都市計画道路常盤通佐間線沿道文化ゾーン整備事業

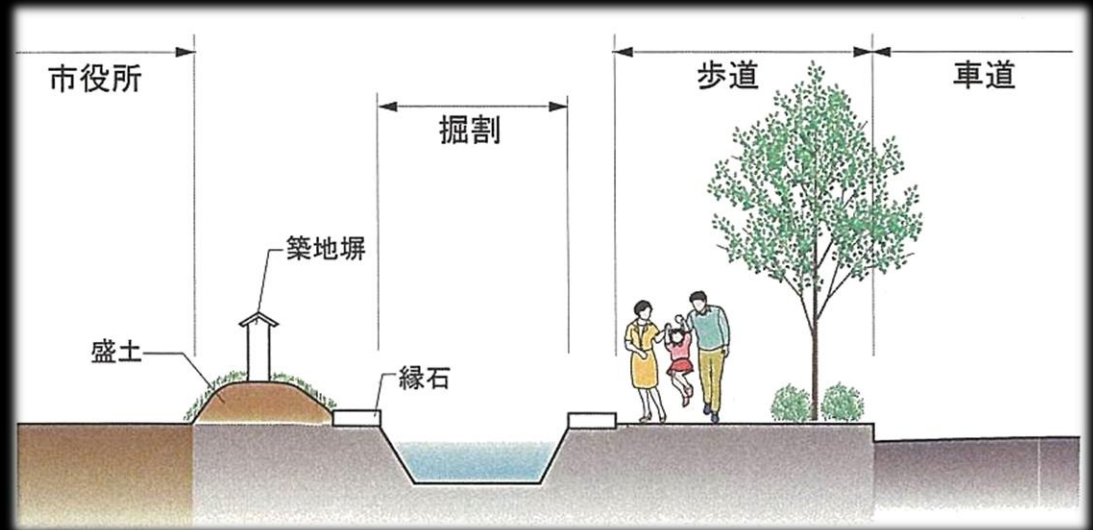
- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業

整備イメージ

歴史的街路整備



文化ゾーン整備



街なかサイン整備



行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出事業

【平成27年度】市の主要事業として位置づけ

【事業の内容】 歴史的街路整備事業（北谷通り周辺）
バスターミナル観光案内所整備事業
街なかサイン事業（蓮華寺通り・北谷通り周辺）
ワークショップ開催（まちにぎWS）



「まち並み整備」に関する事業が多いなか
「にぎわいづくり」に関する事業が少ない



にぎわい創出に向けた市民主体による事業展開として、
市民・自治会・事業者・NPOなどの協働によるまちづくりが必要

まちにぎワークショップで目指すもの

■ 市民による活気あるまちづくり

【市民が中心で、発案・企画し、行動するまちづくりに向けて】

➔ 市民が主役のまちづくり

平成27年度～平成31年度(5カ年)の取組み

- ▶ 平成27年度 市民主体組織の必要性の共有
- ▶ 平成28年度 市民主体組織のあり方の検討・設置
- ▶ 平成29年度 試験的事業の設定と着手
- ▶ 平成30年度 試験的事業の運用
- ▶ 平成31年度 試験的事業の検証

➔ 継続した「まちづくり活動」へ

1. 行田市のまちづくりの流れ
- 2. 全国的なまちづくりの背景
3. 行田市の活性化へむけて
4. グループワーキングについて

全国的なまちづくりの変化

従来のまちづくり



行政主導のまちづくり

利害関係者である市民・地元企業の意見反映が少ない



平成4年 都市計画法改正

現在のまちづくり



行政・市民・地元企業などが協働でまちづくり

利害関係者のすべてがまちづくりに参加する

全国的な「まちづくり」の背景

■ 全国的な社会的問題の多様化

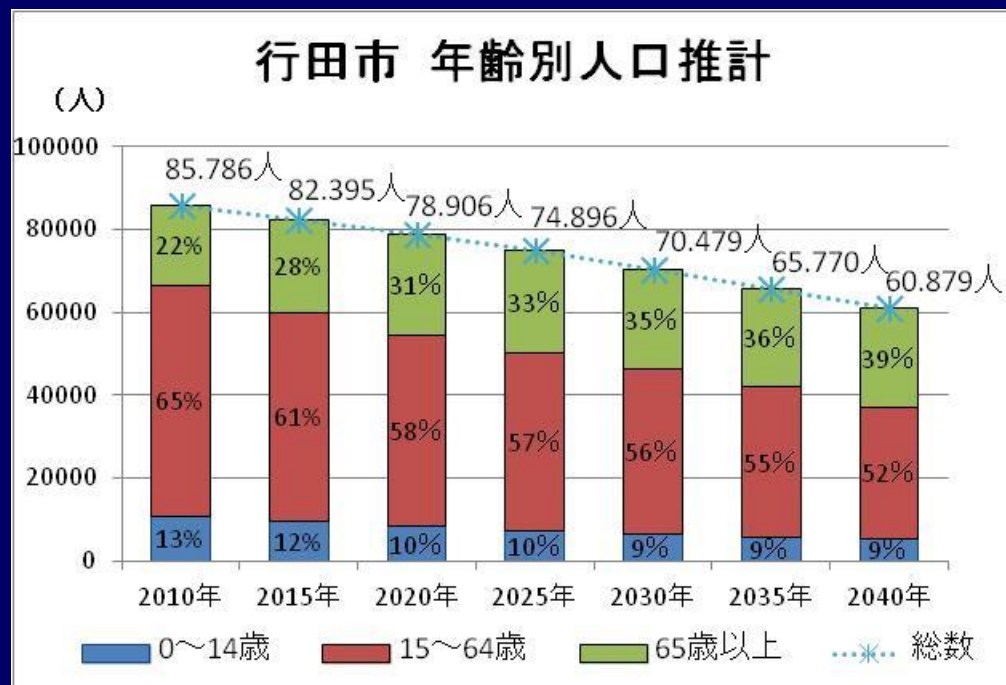
- ▶ 地方衰退 …… 地方から都市部への人口流入
- ▶ 人口問題 …… 人口急減、超高齢化
- ▶ 教育 …… 待機児童
- ▶ 雇用 …… 非正規雇用

…etc



ひと(人口)の増加・しごとの創出・まちの活力
= 地方創生事業

行田市も消滅の危機・・・？



■ 2015年度(昨年)
【人口】82,395人
【20~39歳女性】8,437人

25年後…

■ 2040年度
【人口】60,879人
【20~39歳女性】5,003人

■ 20XX年度は…。

20~39歳の女性が約40%減少傾向

人口・税収が減少すると・・・？

公共サービスの低下

【教育】 小・中・高(公立学校) 教育費 → 全額負担

【医療福祉】 医療費 → 全額負担

【治安維持】 警察・消防 → 有料化

【公共】 道路・図書館・公園 管理費の増額 → 新設困難

【水道】 上・下水道 → 衛生環境の低下



生活基盤の崩壊 = 地域の活力低下 → 都市の消滅

1. 行田市のまちづくりの流れ
2. 全国的なまちづくりの背景
- 3. 行田市の活性化へむけて
4. グループワーキングについて

行田市の事業の流れ

平成
23年

第5次行田市総合振興計画

平成
25年

行田市都市計画マスタープラン

平成
26年

行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画

平成
27年
～
31年

社会資本総合整備計画

ソフト施策 → まちなみにぎわいワークショップ開催

平成27～31年(5カ年)の計画・目標

最終目標 → 市民主体による市民のためのまちづくり

1年目

市民主体組織の必要性の共有

今年度

市民主体組織のあり方の検討・設置

3年目

試験的事業の設定と着手

4年目

試験的事業の運用

5年目

試験的事業の検証

平成27年度 まちにぎWS協議概要

WSの目的: 市民主体組織の必要性の共有

第1回	現状認識と課題の共有
第2回	テーマA 定住人口 テーマB 交流人口
第3回	テーマC 住民参画 テーマD まち並み
第4回	テーマE 市民主体組織のあり方



(ワークショップの様子)



「何を」「誰が」「どのような」方法ですのかWSにて協議

平成27年度 第2回WS まとめ

テーマA 【定住人口】 人口減少を止めるには？

- 育児施設・女性の雇用機会を増やし、
子育て世代の定住を促進
- 屋台村などの若者向け店舗を増やし、若者の流出防止

テーマB 【交流人口】 観光客・交流人口を増やすには？

- 観光資源に関わっている人や団体が協力し、
観光PRや市内の散策ルートを作成
- まちづくり活動に携わっている人物がまとまり
市民全体で観光客の誘致に取り組む

平成27年度 第3回WS まとめ

テーマC 【住民参画】 市民参加を増やすには？

- 若者や女性がまちづくりに参加しやすい場をつくる
- 個々での活動が多いため、
各団体をまとめるような組織づくりを行う

テーマD 【まち並み】 まち並みはどうあるべきか？

- 各地域によって方向性が違うので、
まとめる組織や交流の場をつくり、話し合う
- まちづくりに関する団体を作り、
景観の整備・空き店舗などを管理・活用を行う

平成27年度 第4回WS まとめ

テーマE 市民主体組織のあり方について

- 新規団体が既存の自治会や
市民活動団体を統括する
- 有志市民が、新規のまちづくり会社を設立する
- 一般市民や行動力のある若者など、年代ごとに
幅広く集め、市民が思いを共有できる場を設立する

既存の団体や人をまとめる必要性がある

平成27年度 まちにぎWSの総括

昨年度のWSにて抽出された内容

- 観光資源・空き店舗の有効活用(まち並みの整備等)
- 市民活動の整理・最適化(新規団体の設立等)
- 市民間におけるまちづくり意向の共有(WSの周知等)

・・・etc

今年度のWSではより具体的な方針について検討



団体を集結させ、**市民主体組織**を設立し、**オール行田**で現状を変えていく必要がある

【今年度】平成28年度のWS概要

今年度の目標 ▶ 市民主体組織のあり方の検討と設置

第1回

市民主体組織の活動内容の検討

第2回

活動内容から想定される“課題”と“解決策”

第3回

市民主体組織の形態・役割を検討

第4回

ワークショップの総括・市民主体組織の結成

報告会

実施結果及び調査内容の報告

市民主体組織の活動について

昨年度のWS内容を踏まえて
田尻研究室から活動内容のご提案

1, 緑化整備

2, 空き店舗活用

3, その他(皆様からご提案ください)

案1 緑化整備を中心とした活動

目的

市民、来訪者の満足度向上

活動
内容

中心市街地の潤いある景観形成を考え
既存団体と協力し緑化整備を行う

(例) 神奈川県 横浜市

目的 → 緑化推進団体を結成し、市と協定を
結び、実験的な緑化を行う

内容 → 維持管理は地域で実施

結果 → 地域間交流の増加



(沿道緑化の様子)

案2 空き店舗活用を中心とした活動

目的

新たな拠点づくりによるにぎわいの創出

活動
内容

空き店舗の活用

(例) 鳥取県 鳥取市

目的 → 商店街の再生をかけた飲食店と
コミュニティスペースを併設

内容 → 週末にはカルチャースクールや
セミナーが開催

結果 → 半年で10万人来店



(店舗の様子)

まちづくりが成功するポイントは何か？

- まちづくりに対する市民の積極的な参加
- 行政・市民・企業の連携をとりまとめる組織
- ハード・ソフト両面を併せたまちづくり
- 地元企業・行政からの支援(資金・モノ・場所)



活気あるまち ➡ まちの特色を知る市民団体が
主体性・自主性をもって、目標立て実行

平成27～31年(5カ年)の計画・目標

最終目標 → 市民主体による市民のためのまちづくり

1年目

市民主体組織の必要性の共有

今年度

市民主体組織のあり方の検討・設置

3年目

試験的事業の設定と着手

4年目

試験的事業の運用

5年目

試験的事業の検証

1. 全国的なまちづくりの背景
2. 行田市のまちづくりの流れ
3. 行田市の活性化へむけて
- 4. グループワーキングについて

今回のワークのテーマ

「緑化整備、空き店舗活用、その他」

・・・についてグループワークしてみよう！！

談話中のエチケット

1. 参加者**みんなが**発言できるようにしましょう
2. **議題に沿った**発言をしましょう
3. 互いの意見を**尊重し合**いましょう

エチケットは必ず守りましょう！

グループワーク 「ステップ1」

第1回 グループ	活動内容		
	短期	中期	長期
緑化 整備			
空き店舗 活用			
その他			

各グループに模造紙を配布しております

グループワーク 「ステップ2」

第1回 グループ	活動内容		
	短期	中期	長期
緑化 整備			
空き店舗 活用			
その他			

緑化整備、空き店舗活用、その他に
ついて短期・中期・長期的に考えて書き出してみよう

ワークを行う上でのご協力をお願い

■ 録音しております！

今後の**意見のとりまとめ**のため
グループワークの様子を録音させていただいております。
ご理解とご了承の程よろしくお願い申し上げます。

■ 皆様へのお願い！

発言前にお名前をお聞かせください。

今回のワークのテーマ

「緑化整備、空き店舗活用、その他」

…についてグループワークしてみよう！！

今後のスケジュール

日
程

次回 👉 第2回 10月 17日 (月)
第3回 11月 21日 (月)
第4回 12月 12日 (月)
報告会 2月 20日 (月)

場
所

行田市商工センター 403 研修室

時
間

19時00分～20時30分 (1時間30分)

調査にご協力をお願い申し上げます

調査用紙が2つございます

まちにぎワークショップ参加者用調査用紙	
＜あなた自身のことについてお聞きします。＞	
質問 1	あなたのお名前をご記入ください。
質問 2	あなたの性別をお選びください。 (1) 男性 (2) 女性
質問 3	あなたの年齢をご記入ください。 _____ 歳
質問 4	あなたの家族構成をご記入ください。 _____ 人 家族で、大人 _____ 人 子供 _____ 人
質問 5	あなたの職業をお選び下さい。(1つに○) (1)会社員・公務員 (2)自営業 (3)派遣労働者・契約社員 (4)パート・アルバイト (5)専業主婦・主夫 (6)小学・中学・高校生 (7)大学・短大・専門学校 (8)無職 (9)その他()
質問 6	あなたの通勤・通学先をお選びください。また市外の方はその場所をご記入ください。 (1)市内 (2)市外 () 都・県() 区・市・町・村
質問 7	あなたは行田市に住み始めて何年になるかご記入ください。 _____ 年
質問 8	あなたの居住形態をお選びください。(1つに○) (1)一軒家 (2)団地 (3)アパート (4)マンション (5)寮 (6)その他()
質問 9	あなたのお住まいの地区をお選びください。(1つに○) (1)須加 (2)荒木 (3)北河原 (4)南河原 (5)長野 (6)忍 (7)行田 (8)佐間 (9)持田 (10)星河 (11)星宮 (12)埼玉 (13)太田 (14)太井 (15)下忍 (16)その他()
質問 10	あなたは今後も行田市に住み続けたいと思いますか。(当てはまるもの1つに○) (1)住み続けたい (2)どちらかといえば住み続けたい (3)どちらかといえばほかの地域に転居したい (4)ほかの地域に転居したい (5)考えていない
質問 11	質問9で(1)、(2)とお答えいただいた方にお聞きします。 行田市に住み続ける理由をお選びください。(当てはまるもの全てに○) (1)自然環境がよいから (2)教育環境がいいから (3)交通の便がいいから (4)人間関係・近隣関係がよいから (5)買い物等の利便性がよいから (6)長年住みなれているから (7)仕事の関係から (8)医療・福祉が充実している (9)防災の面で安心だから (10)治安の面で安心だから (11)その他()
質問 12	質問9で(3)、(4)とお答えいただいた方にお聞きします。 行田市から転居したい理由をお選びください。(当てはまるもの全てに○) (1)自然環境がよくないから (2)教育環境がよくないから (3)交通の便が悪いから (4)人間関係・近隣関係がよくないから (5)買い物等の利便性が悪いから (6)長年住んだために移りたい (7)仕事の関係から (8)医療・福祉が充実していないから (9)防災の面で不安だから (10)治安の面で不安だから (11)その他()

A. 参加者用調査用紙

① 自宅で記入 ➡ 次回WS時に回収

② 会場で記入 ➡ お近くの学生まで

B. グループワーク反応シート

① 会場で記入 ➡ お近くの学生まで
本日中にご提出お願いいたします。

非常に長い調査用紙で
大変申し訳ございません。

ご協力よろしくようお願い申し上げます。

**本日は最後まで
誠にありがとうございました！**